

商店街を歩いていくと、何やらとても魅力的な形が目飛び込んできた。

軽く人目を気にしながら、こっそりとそれを突いてみる。

色、模様も様々なボールが店前に置かれている。

さらにちよいと上を見上げて分かった。ここはスポーツ用品店なのである。

こう見えても私、若い頃は猫の間でも有名な「スポーツ猫」であった。

例えばこの、私が先程から突いているバスケットボール。これを使ってバスケットボールをしたし、その上のサッカーボールを使って、サッカーもやった。ああ、野球だってやったのだ。昔の私は力が強く、お手製の木製バットをよく折ってしまっていた。折るたびに削って作り直さねばならないので大変だった。

まあ実を言うとボールを使う競技は全て、途中でついボールにじゃれついてしまい、競技どころではなかったのだが……。

しかしまた挑戦したくなってしまった。今であれば、ボールへの本能も上手く抑えられるはずだ。私も大人になったものである。

購入はまたの機会にすると、昔を思い出して興奮したからか、何だか喉が渇いてきた。ボールの感触は名残おしいがそろそろ手をどけて、もう少し先へ行ってみるとしよう。



東洋堂スポーツ 高橋宏滋/絵